

公 民 [倫 理] (100 点 50 分)

2024 年 12 月 6 日 (金) 2 限 実施

第 3 回 考 査

千葉県立佐倉高等学校 第 3 学年 選択者

Edited by K.Kataoka

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 解答用紙はマークシート式です。
- 3 受験番号はアルファベットを数字に直し、次の例のように 5 桁で記入してマークを忘れないこと。
例 3 年 D 組 1 番 → 30401
- 4 問題中の【CG】は「知識・技能」を、【SHH】は「思考・判断・表現」を評価することを示している。
- 5 試験中に解答用紙の不足、問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 6 試験終了後、問題冊子は持ち帰って復習をするとともに、答案返却の際に持参すること。

倫 理

(解答番号 [1] ～ [50])

第1問 資料1, 2を見ている高校生AとBが交わした次の会話を読み、後の問いに答えよ。(配点 20)



資料 1

彼が立ち上がれば神々もおののき取り乱して、逃げ惑う。剣も槍も、矢も投げ槍も彼を突き刺すことはできない。鉄の武器も麦藁となり青銅も腐った木となる。弓を射ても彼を追うことはできず石投げ紐の石ももみ殻に変わる。彼はこん棒を藁と見なし投げ槍のうなりを笑う。彼の腹は鋭い陶器の破片を並べたよう。打穀機のように土の塊を砕き散らす。彼は深い淵を煮えたぎる鍋のように沸き上がらせ海をるつぼにする。彼の進んだ跡には光が輝き深淵は白髪をなびかせる。この地上に、彼を支配する者はいない。彼はおののきを知らぬものとして造られている。驕り高ぶるものすべてを見下し誇り高い獣すべての上に君臨している。

『ヨブ記』 41:17-26

資料 2

A: 資料1はホッブズの著作『[1]』の挿絵だね。

B: 資料2の「彼」が[1]なんだね。怪獣のようだけどかなり強そうだ。

A: ホッブズは[1]こそが、人々がその生命を守るために契約を結んで設立した[2]だって考えた。[2]がなければ平和もなく、人間の生存もあり得ない。

B: まだ[2]があらわれる前の自然状態では、各人が[3]としての自然権を主張するから「[4]状態」が発生する危険性が大きいと考えたんだよね。

A: そう、だからこそ主権者としての国王には[1]のような強大な権力が必要だと考えたんだろうね。

B: しかし、資料1の国王の身体の様子がボコボコしてて気になるね。

A: 著作『[1]』の冒頭で、ホッブズは、「人間の技術は[2]と呼ばれる偉大な[1]を創造するが、それは疑いなく一個の人工人間に他ならない」と書いている。そして、その素材も製作者もともに人間だとも言っている。この挿絵は人間が契約を交わして創造した、巨大な人工人間をあらわしているんだよ。

B: だからホッブズは専制君主制を理想と考えているんだね。

問1 文章中の空欄[1]～[4]に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。【CG】

- [1]

① ゴーレム	② ホムンクルス
③ ベヒモス	④ リヴァイアサン

- [2]

① 国家	② 社会
③ 政治	④ 文化

- [3] ⎧ ① 自由権 ② 自己保存
 ⎩ ③ 所有権 ④ 人権
- [4] ⎧ ① 飽和 ② 混乱
 ⎩ ③ 戦争 ④ 経済

問2 ロックの著作として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[5] 【CG】

- [5] ⎧ ① 社会契約論 ② 君主論
 ⎩ ③ 市民政府二論 ④ 人間本性論

問3 ロックの思想を表す記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[6]
【SHH】

- ① 自然権保障のため市民が信託した権力を政府が行使するという立場から、王権神授説が批判される。
- ② 人民主権の立場から、一般意志の行使である主権は分割も譲渡もできないものだと主張される。
- ③ 様々な国や時代の法律が実証的に比較され、立法、行政、司法の三権分立論が展開される。
- ④ 統治階級の哲人が他の防衛者階級や生産者階級を統治すべきだとする、哲人政治が主張される。

問4 次のア～ウは、「一般意志」についてのルソーの考え方の説明である。その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。[7] 【SHH】

- ア 一般意志は公共の利益を目指すものであり、個々人の私的な利益を目指す特殊意志の総和として得られる。
- イ 一般意志は、その全体を分割し、一部を譲渡することができるので、議会が全人民を代表する間接民主制が可能である。
- ウ 人々は、自分のすべての権利を共同体に譲渡し、その一般意志に従うことによって、市民としての自由を得ることができる。

- ① ア 正 イ 正 ウ 誤
- ② ア 正 イ 誤 ウ 正
- ③ ア 正 イ 誤 ウ 誤
- ④ ア 誤 イ 正 ウ 正
- ⑤ ア 誤 イ 正 ウ 誤
- ⑥ ア 誤 イ 誤 ウ 正

問5 次のア～ウは、啓蒙主義の思想を説明したものである。その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。[8] 【SHH】

ア 「啓蒙」とは、無知蒙昧の暗闇に理性の光を当てて照らし出すことを意味する。啓蒙思想家たちは、ヨーロッパの伝統的な宗教や権威を批判し、もっぱらヨーロッパ以外の文化に模範的な価値を見いだしていった。

イ 啓蒙思想家たちは、理性に信頼を寄せ、先入見から人々を解放しようとした。この思潮の背景には、ニュートンの物理学に代表される自然科学の成立とその普及があった。

ウ 18世紀のフランスでは、ダランベールらの啓蒙思想家たちが絶対王政下で『百科全書』を刊行した。そこで示された合理的・進歩的思想によって旧制度を批判する気運が生じ、フランス革命の源泉の一つとなった。

- | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | ア | 正 | イ | 正 | ウ | 正 |
| ② | ア | 正 | イ | 正 | ウ | 誤 |
| ③ | ア | 正 | イ | 誤 | ウ | 正 |
| ④ | ア | 正 | イ | 誤 | ウ | 誤 |
| ⑤ | ア | 誤 | イ | 正 | ウ | 正 |
| ⑥ | ア | 誤 | イ | 正 | ウ | 誤 |
| ⑦ | ア | 誤 | イ | 誤 | ウ | 正 |
| ⑧ | ア | 誤 | イ | 誤 | ウ | 誤 |

問6 ロックの寛容思想の説明として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[9] 【SHH】

- ① 教会は必ずしも相互に平等であるわけではなく、為政者がどれかの教会の一員であれば、その教会は他の教会に対して支配権をもつ。
- ② 世俗社会の平和と秩序を維持するためには、人々は君主の信奉する宗教と同じ宗教の信徒となって統治に協力することが義務づけられる。
- ③ 各人の魂と天上のことについての配慮は、全く各人自身に委ねられた事柄であり、決して政治的権力によって強制されてはならない。
- ④ 教会は、為政者が参加することによって剣の力を獲得し、為政者が去ることによってその教会の成員に対する教化と破門の権利を失う。

問7 人間の理性という光をもって世界を照らし出そうとした西洋近代の思想を啓蒙思想という。フランス啓蒙思想家の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[10] 【SHH】

- ① モンテスキューは、人民の革命によって絶対王政を転覆すべきだとした。
- ② ヴォルテールは、ロックの経験論に学び宗教的な迷信や偏見を批判した。
- ③ デイドロは、王政の保護のもと、宗教を擁護する『百科全書』を編纂した。
- ④ サン＝シモンは、資本主義の科学的分析に基づいて理想社会を構想した。

第2問 次の文章を読み、下の問いに答えよ。(配点 20)

人間の理性の認識の根拠と限界を明らかにすべき、より完全な著作として、10 年余りの苦闘を経て公にされたのがカントの主著である『純粋理性批判』(1781) にほかならない。ここで、カントは、人間理性によって理論的に確実に認識可能なものは、感覚的与件をもとに人間の認識主観の[11]な手持ちの認識形式としての空間・時間、カテゴリー(純粋悟性概念)などによって、整序され構成された「現象」としての自然、いいかえれば可感的世界に限られることを立証した。さらにこの「現象」の世界を超えた「[12]」の世界、可想界ないし「英知界」にかかわる「理念」についての形而上学的認識は、理論的学としては成立しえず、もろもろの理念は、現象世界の認識に究極の統一を与えるべき方向を指示する「統制的原理」としてのみ認められると結論する。

理論的認識に対しては、統制的原理として以上の意味を認められなかった[12]の世界、ないし英知界への展望は、第二の批判書『[13] 理性批判』(1788)において、人間の自律的道德が存立すべき不可欠の「純粋[13] 理性の要請」として、積極的意味を担って再興される。条件抜き of 道徳的命令としての「[14]」が意味をもつためには、永生、自由、また徳と福の一致を保証すべき神の存在などが不可欠の条件として要請されねばならないとされるのである。

問1 文章中の空欄[11]～[14]に入る最も適当な語句を、次のそれぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。【CG】

[11] ①ア・ポステリオリ ②アポロドロス ③ア・プリオリ ④アポカリプシス

[12] ① 実体 ② 物自体 ③ 仮象 ④ 抽象

[13] ① 実践 ② 観想 ③ 理論 ④ 完全

[14] ① 定言命法 ② 現在命法 ③ 仮言命法 ④ 過去命法

問2 ヘーゲルの著作として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。[15]【CG】

① 法の哲学 ② 永久平和のために ③ 精神現象学 ④ 大論理学

問3 純粋な責務の道徳論はカントの立場であるが、これを形式的であると批判して、倫理の具体的内容を重視したのがヘーゲルである。ヘーゲルによるカント批判として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[16]【SHH】

- ① 責務を担う主体は、この私自身であるから、道徳は自己の実存に関わる真理の次元で具体的に考える必要がある。
- ② 責務を果たす手段は、物質的なものであるから、道徳の具体的内容を精神のあり方から観念的に考えてはならない。
- ③ 責務を担う場面は、人間関係や社会制度と深く関わっているから、これらを通して道徳を具体化せねばならない。
- ④ 責務を果たす目的は、人々の幸福の具体的な増大にあるから、道徳的に重視すべきは行為の動機よりも結果である。

問4 ヘーゲルは市民社会の現実についてどのように考えたか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[17]【SHH】

- ① 市民社会では、人々の自立が十分には自覚されていないが、愛情によって結びついた共同性が成立する。
- ② 市民社会では、人々が自分の欲望充足を目指して行為するため、人々の間で利害をめぐる対立状況が成立する。
- ③ 市民社会では、人々が競争することによって生み出される経済的な不平等は解消され、万人の自由を実現する共同性が成立する。
- ④ 市民社会では、人々は欲望実現のために結びつくので、法律の強制によらずして互いの利益を尊重した調和が成立する。

問4 個人と社会とのあるべき関係を追求した社会思想に功利主義がある。この功利主義を唱えた思想家の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[18]【SHH】

- ① ベンサムは、快を幸福とし苦痛を不幸としたうえで、その快苦を数量化し、社会全体の幸福の最大化を目指そうとしたが、最終的には快樂計算は不可能であると考えた。
- ② ベンサムによれば、個々人は利己的に振る舞いがちであり、利己的振る舞いを社会全体の幸福に一致させるためには、政治的制裁などの外的な強制力が必要である。
- ③ ミルは、快に質的差異があることを認めたが、人間には感性的な快を求める傾向性があるので、万人に等しく分配されている良識によって自らを律することが大切であると考えた。
- ④ ミルによれば、人間は精神的に成長するものであり、自らの良心の呼び声によって、頹落した世人から本来的な自己に立ち返り、利他的に振る舞うようになる。

問5 ミルが個性の発展を擁護した理由についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[19]【SHH】

- ① 個性の自由な発展は、自我の安定のために有益であり、それを社会が認めないと、無意識の欲望が抑圧されて、自我の不安を覚える人々が多くなってしまう。
- ② 個性の自由な発展は、個人の幸福にとって不可欠だけではなく、社会全体が進歩していくためにも有益であり、他人に害を与えない限り、それを制限してはならない。
- ③ 個性の自由な発展は、人間が生まれながらに持っている自然権の一つであり、それを社会が抑圧しようとするのは、いかなる理由をもってしても絶対に許されない。
- ④ 個性の自由な発展は、人間が神から与えられた才能を開花させることであり、それを抑圧しようとするのは、神を信じることのできない人間の傲慢に基づいている。

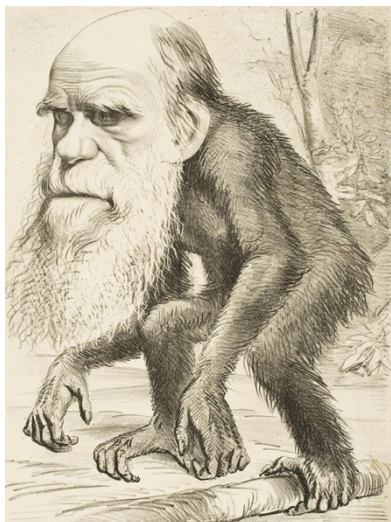
問5 次のヘーゲルの弁証法についての記述に関して、空欄ア・イに入る組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[20]【SHH】

ヘーゲルによれば、精神に限らず、発展・成長・変化するものには、「他となりつつ同一を保つ」という「対立の統一」が含まれている。発展・変化の限界点では違うものが同じものである。この限界の〔ア〕性が、数学においては微分に表現される極限点に成立する。グラフ上接点で示される極限点では、曲線が直線に等しい。微分の弁証法的な解釈には、「点の本質的な規定として隣接点との関係が含まれる」という原理がある。もの一般にこの原理を拡張すると、「あるものの本性には他のものとの異なり等の関係が内在する」となる。これは、「関係は実体と同様に実在する」といっても同じことである。ここからさらに、「内的な本質とは多様な関係の集約である」という規定を導き出すと、問題は内なるものと外なるものとの関係という構造に射映される。

ヘーゲルは、同一の構造を心の〔イ〕のうちにもみいだす。心がその心を意識するとき、意識する心と意識される心とは、同一であって、しかも同一ではない。主観としての心と客観としての心が同一であるからこそ、外部の媒介を経ない直接の知が成り立つ。たとえば、山を見る私は自分が「山を見ている」ということを知っており、「見る」という意識活動を意識する反省意識は見る意識と同時に働く、同一の意識である。しかし、知る主体と知られる客体という作用面での区別がある。したがって、〔イ〕・反省のうちには「区別のない区別」という対立者の同一が含まれる。

- | | | | | |
|---|---|----|---|----|
| ① | ア | 多様 | イ | 逆行 |
| ② | ア | 多様 | イ | 内省 |
| ③ | ア | 矛盾 | イ | 逆行 |
| ④ | ア | 矛盾 | イ | 内省 |

第3問 次の会話文を読み、下の問いに答えよ。(配点 20)



ダーウィンは、英国海軍の測量船ビーグル号の世界一周航海(31～36年)に参加し、途中立ち寄ったガラパゴス諸島(エクアドル)で、ゾウガメの甲羅の形が島ごとに異なることなどを発見し、進化論の着想を得た。しかし、キリスト教が社会全体に絶対的な影響を持ち、生物は神が創造したと信じられていた時代のヨーロッパにあつて、「[21]」による進化が多様な種を生んだとする自説の発表をちゅうちょした。しかしその後、同様の理論を独自にまとめたウォレス(イギリスの博物学者)から相談を受けたことをきっかけに、着想から20年以上を経た58年にウォレスと共同で論文を発表し、翌年、『[22]』を出版した。

資料1

資料2

- A: 資料1はキリスト教の創造論を支持する人の書いたダーウィン像だろうね。
- B: 資料2にも書いてあるけど、[21]によって全ての生物が進化するのだとしたら、キリスト教の神の創造の教義が否定されてしまうからね。
- A: 一般的にダーウィンは『[22]』で、人間がサルから進化したことを主張したといわれているけど、実際にはこの著作ではまだそんなことは言っていないんだよね。
- B: ラマルクの用不用論の進化論がダーウィンの進化論と同じだと誤解されているところもあるよね。
- A: そう、キリンの首が伸びたのは高い木の葉っぱを食べるためではなくて、首の長いキリンが環境に適応して、短い首のキリンが滅んだからキリンの首が長くなるように進化した。
- B: さらにイギリスの[23]はダーウィンの影響を受けて社会進化論を唱えたね。彼の思想は日本の加藤弘之にも影響を与えた。適者生存の競争社会が社会全体の進化を促すってことだよな。
- A: これも解釈によっては強者にしか生きる意味や価値がないとする[24]思想に結び付けかねないし、難しいところだね。
- B: そう、ナチズムの強者による弱者の支配という考え方にも繋がりがかねないから、気をつける必要があるね。

問1 文章中の空欄[21]～[24]に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。【CG】

- [21] ① 環境順応 ② 器官発達 ③ 自然選択 ④ 突然変異
- [22] ① 進化の始原 ② 動物哲学 ③ 種の起源 ④ 無脊椎動物誌
- [23] ① スペンサー ② J S ミル ③ スマイルズ ④ ホレーショ
- [24] ① 優生 ② 生存権 ③ 種差別 ④ 帰結

問2 マルクスの主著として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。[25]【CG】

- ① 国富論 ② 道徳感情論 ③ 資本論 ④ 方法序説

問3 社会学の創設者コントの思想の記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[26]【SHH】

- ① 人間の知性は、環境に適応するための道具である。この創造的知性によって人間性を改善し、理想的な民主主義社会を作り上げねばならない。
- ② 人間においては、実存が本質に先立ち、あらかじめ決まった本性はない。このように自由な人間は、積極的に社会参加しなければならない。
- ③ 自由を本質とする精神は、まず個人の主観的精神として現れ、次に社会関係としての客観的精神となり、最後に両者を統一する絶対精神となる。
- ④ 人間の知識の発展は、神学段階、形而上学段階、実証的段階の三つに分けられ、その三段階は社会の進歩の三段階に対応している。

問4 次のア～ウは社会問題の克服を模索した思想家についての記述であるが、それぞれ誰のものか。その組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。[27]【SHH】

ア 経営者の立場から、労働者の生活や労働条件の改善に努めた後、理想社会の実現を目指してアメリカに渡り、共同所有・共同生活の村(ニューハーモニー村)を実験的に建設した。

イ 自由競争下での産業社会は統一性を欠いた無政府的なものであり、不正や欺瞞に満ちていると考え、農業を基本とした、調和と統一のとれた理想的な共同社会(ファランジュ)を構想した。

ウ フェビアン協会の指導者の一人であり、福祉政策の充実や、生産手段の公有化などを行うことによって、現代社会が抱える悲惨な状況を少しずつ改善していくべきであると主張した。

- ① ア フーリエ イ バーナード・ショウ ウ オーウェン
- ② ア フーリエ イ オーウェン ウ バーナード・ショウ
- ③ ア バーナード・ショウ イ フーリエ ウ オーウェン
- ④ ア バーナード・ショウ イ オーウェン ウ フーリエ
- ⑤ ア オーウェン イ フーリエ ウ バーナード・ショウ
- ⑥ ア オーウェン イ バーナード・ショウ ウ フーリエ

問5 「資本主義体制の下での労働の疎外」に関して、その理由についてのマルクスの説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[28]【SHH】

- ① 本来、働くことは自由な創造の営みであるが、社会組織の巨大化と複雑化が進むことによって、組織のための作業という意味しかもたなくなってしまい、働くことに意義が見いだせなくなる。
- ② 本来、働くことは個性を追求する営みであるが、市場経済が進展することによって、市場に受け入れられる製品を作る営みに変化してしまい、働くことに意義が見いだせなくなる。
- ③ 本来、働くことは自己実現の営みであるが、労働力の商品化が進展することによって、賃金を手に入れるための強いられる営みとなってしまい、働くことに意義が見いだせなくなる。
- ④ 本来、働くことは大地の呼びかけに耳を傾ける営みであるが、科学技術が進展することによって、自然を支配する営みになってしまい、働くことに意義が見いだせなくなる。

問6 真理についてのジェームズの考え方として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[29]【SHH】

- ① 真理を主張するには、個人の性癖や境遇などに囚われることで生ずる偏見を排除することが必要だと考える。
- ② ある主張は必ずそれと対立するものを含んでおり、それらを統一するところに真理の認識があると考ええる。
- ③ 個々人の精神はモナドであり、それぞれが表現する真理は、異なったままにあらかじめ調和がとれていると考える。
- ④ 真理というものは、自分にとって役立つものであり、個別的で相対的であるとともに条件的なものだと考える。

問7 有機体や進化という考え方に注目して人間を考察した思想家にデューイがいる。次の文章は、彼の思想についての説明である。[a]～[c]に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。[30]【SHH】

デューイは、人間も他の生物と同じように、有機体として環境に適応することで生き、成長すると考えた。彼の提唱する[a]によれば、人間に特有な知性もまた、抽象的な真理を発見するためではなく、日常生活上の苦境や問題への対処を実り豊かにし、その解決に役立つためにある。彼は、環境との相互作用を通じて個々の問題解決を図り、未来を展望する能力を[b]と呼び、この能力を発揮することで、人は過去の習慣を修正し、自我を未来に向けて形成できるとした。さらに、デューイは、こうした人間観に基づいて、従来の暗記中心教育に対して、問題解決型教育を新たなモデルとした教育改革思想も打ち出している。著書[c]で主張されるように、彼は学校での学習も、学校のそとで起こっている社会の問題の解決に関わるべきだと考えた。

- | | | | |
|---|---------|---------|-------------|
| ① | a 道具的理性 | b 創造的知性 | c 『幼児期と社会』 |
| ② | a 道具的理性 | b 創造的知性 | c 『民主主義と教育』 |
| ③ | a 道具的理性 | b 投 企 | c 『幼児期と社会』 |
| ④ | a 道具的理性 | b 投 企 | c 『民主主義と教育』 |
| ⑤ | a 道具主義 | b 創造的知性 | c 『幼児期と社会』 |
| ⑥ | a 道具主義 | b 創造的知性 | c 『民主主義と教育』 |
| ⑦ | a 道具主義 | b 投 企 | c 『幼児期と社会』 |
| ⑧ | a 道具主義 | b 投 企 | c 『民主主義と教育』 |

第4問 次の文章を読み下の問いに答えよ。(配点 20)

[31] はアメリカのキリスト教牧師。[32] の非暴力抵抗方式を人種差別撤廃を目ざす黒人闘争へ移植した黒人指導者。ジョージア州アトランタの有力黒人牧師の家庭に育った彼は、〈敵をも愛す〉キリストの愛を深く信じてはいたが、個人をこえた人種間の闘争手段としては有効でないと考える。黒人のためのモアハウス大学を卒業後、人種正義実現への手段を求めて思想的遍歴を重ね、[32] に到達した。[32] は相手の暴力を甘受することによってより大きな成果を得たのである。55 年赴任先のアラバマ州モンゴメリーで、座席の差別待遇に対するバス・ボイコットが黒人市民によって起こされたとき、[31] はこれを [32] 方式とキリストの愛(アガペ)を結合した非暴力直接行動によって成功に導く。黒人闘争に発し、人種平等、経済平等、平和、民主主義の非暴力的達成を目ざした [31] はひとつの時代精神となったのである。68 年 4 月、テネシー州メンフィスにて凶弾に倒れる。逮捕歴 30 回以上。

イギリスの不当な植民地支配に抗議し、インドの独立を勝ちとる民族解放運動を指導した [32] は、1920 年から 1948 年に暗殺されるまで、非暴力・不服従による抵抗運動をねばり強く続けていった。[32] の抵抗運動の理念は、宇宙や人間の根源にある唯一絶対の真理を正しくとらえる「[33] (真理の保持)」である。そしてそれを実践するため、自己を浄化して肉体的・物質的な欲望にうちかつことと、すべての生物を同胞とみなして、殺生に反対し([34]), 肉食を禁じ、戦争の放棄を説いたのである。暴力に対しても、あくまで人間愛と自己制御によって抗議すべきだとして非暴力の立場を貫いた。

問1 文章中の空欄 [31] ～ [34] に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。【CG】

[31] ① マザーテレサ ② マルコム X ③ ガンディー ④ キング

[32] ① マザーテレサ ② マルコム X ③ ガンディー ④ キング

[33] ①スワデシ ②ブラフマチャリヤー ③サティアグラハ ④アヒンサー

[34] ①スワデシ ②ブラフマチャリヤー ③サティアグラハ ④アヒンサー

問2 次のキルケゴールの書いた文中の空欄 [35] に入る語として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。【CG】

[35] 性こそ真理であるとするならば、真理の規定には客観性との対決を意味し、かの分かれ道を明示する一つの標識が同時に内蔵されていなければならぬ。そのような規定を踏まえた真理の定義の一例をあげれば、次のようになる。いわく、内面性の情熱の極致に於いて [35] が獲得し、そして全情熱を傾けてこれにすがっている客観的不確かさ、これこそが真理である、これこそ実存に生きる者にとって実在する最高の真理であると。

① 実在 ② 他者 ③ 宗教 ④ 主体

問3 ニーチェについての説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

[36] 【SHH】

- ① キリスト教の教義に基づく禁欲的な道徳を、強者の自己肯定に根ざした高貴な者たちの道徳として賞賛した。
- ② 個々人が、必ずや訪れる自らの死と向き合うことを通じて、本来的な自己のあり方に目覚める重要性を説いた。
- ③ 既成の道徳や価値観への信頼が失われた事態を正面から引き受け、新たな価値を自己自身で創造しつつ生きることを求めた。
- ④ 他者や世俗的な出来事の中に埋没し、本来的な自己のあり方を見失ったまま生きる人間を「ダス・マン(世人)」として批判した。

問4 次のア～ウは、ハイデッガーの思想を説明した記述である。その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。[37] 【SHH】

- ア 死への存在として生きる実存には、「良心」が本来的な自己として生きることを呼びかける。「良心」の呼び声に耳を澄まして、死への不安への用意を整えて、本来的自己の可能性に向けて自らを投げ出すことを先駆的決意性という。
- イ 人は倫理的に生きようとする、欲望を「あれも、これも」満たす生き方にとどまることはできず、自らの生き方について「あれか、これか」の決断を迫られざるを得ない。
- ウ 古代ギリシアでは技術は詩作のための芸術だった。しかし、現代文明は言葉を単なるコミュニケーションの道具として捉え、自然を技術的に制圧しようとしてしまっている。この状態が存在忘却であり、故郷の喪失である。

- | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | ア | 正 | イ | 正 | ウ | 誤 |
| ② | ア | 正 | イ | 誤 | ウ | 正 |
| ③ | ア | 正 | イ | 誤 | ウ | 誤 |
| ④ | ア | 誤 | イ | 正 | ウ | 正 |
| ⑤ | ア | 誤 | イ | 正 | ウ | 誤 |
| ⑥ | ア | 誤 | イ | 誤 | ウ | 正 |

問5 ヤスパースの思想についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[38] 【SHH】

- ① 人が、その都度の行為において、自らの人生に充実感や豊かさを与えるために有用であると認める観念
- ② 人が、自己自身に誠実に生きるために、自らの身を捧げてでも決断と行為によって実現したいと願う理念
- ③ 人が、限界状況を乗り越えて本当の自分と出会い、愛しつつ闘うことで獲得すべき他人との真の交わり
- ④ 人が、矛盾に満ちた社会において、理不尽な抑圧から脱するために闘争を経て実現すべき新しい関係

問6 サルトルの思想の説明として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。[39]

【SHH】

- ① 人間は、自己と自己を取り巻く社会の現実に関わらざるを得ないが、全人類への責任を自覚し、自ら進んで社会へ身を投じることで、現実を新たにつくりかえていく可能性に開かれている。
- ② 人間は、絶えず自らを意識しながら、自らを新たに形作ろうと努める存在であるため、いかなる状況においても変化しない、同一の本質をそなえた事物とは異なっている。
- ③ 人間は、自由であることから逃れられず、自由であることから生じる責任を他者に委ねることもできないため、不安に耐えて、自己と自己を取り巻く社会の現実に関わらざるを得ない。
- ④ 人間は、あらかじめ自らの本質が定められており、その本質を実現するために自らを手段として活用することによって、未来の可能性を切り開いていく、自由な存在である。

問7 道具は、様々な思想家によって考察の対象となってきた。その説明として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[40] 【SHH】

- ① デューイによれば、道具を用いて環境を改善していく人間にとって、自らの知性もまた、個別の問題を解決して社会を進歩させるための道具である。
- ② カルヴァンは、人間は神の栄光を実現する道具であり、神に服従して善行を積むことによってのみ、神の救いを得ることができると説いた。
- ③ 柳田国男は、無名の職人たちが手仕事で作り出し、民衆が日々使用する道具に、生活に根差した固有の美を見だし、民芸運動を主導した。
- ④ バークリーによれば、人間は道具を用いるが、人間を道具として扱うべきではない。個人は常に行為の目的として尊重されるべきだからである。

第5問 次の文章を読み下の問いに答えよ。(配点 20)

[41] のパラダイム論によれば、自然科学の歴史は連続的な進歩、拡大の歴史ではなく、いくつかの [42] (パラダイムの転換) によって画される断続史である。パラダイムを共有する科学者集団が、一定期間パラダイムに基づいて科学を発展させ、その通常科学が行きつると [42] が起こり、新たなパラダイムが取って代わるという。古代ギリシアの天文学者クラウディオス・プトレマイオスの宇宙観に対して提唱された 15～16 世紀のニコラウス・コペルニクスの地動説や、近代イギリスのアイザック・ニュートンが打ち立てたニュートン力学に再考を迫った 20 世紀前半の量子力学、一般相対性理論の確立などが [42] の典型例である。

[43] は、ポパーの言う「開かれた社会」と繋がっている。「開かれた社会」とは、トリアル&エラーを社会に当てはめたものであり、人が自分の間違っている可能性を認め、また同様に、相手も間違っている可能性を認めて、段階的に改良していく社会である。つまりこれは、より一層の合理化を続ける社会であるが、一方で、最初に不変の「真理」を前提としている社会は「閉ざされた社会」と呼ばれる。「閉ざされた社会」の典型例は、宗教的・伝統的社会、独裁社会、全体主義的社会などであり、すなわちこれらは、反証可能性を否定する社会である。「閉ざされた社会」は、絶対的真理または「科学的」理論に基づいていると自称しているが、自分が失敗する可能性(つまり [43]) を認めようとしない。そのため軌道修正する機会を失い、[44] 化していく。これに対し、[43] を肯定する「開かれた社会」は段階的に改良されていく。ここには絶対的指導者が存在せず、代わりにお互いが失敗を正す機会が与えられる。

問1 文章中の空欄 [41] ～ [44] に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。【CG】

[41] ① クライン ② ポパー ③ ファイヤーベント ④ クーン

[42] ① 反証可能性 ② 疑似科学 ③ ホーリズム ④ 科学革命

[43] ① 反証可能性 ② 疑似科学 ③ ホーリズム ④ 科学革命

[44] ①パラノイア ②ディストピア ③スキゾフレニア ④ユートピア

問2 以下の決議を宣言した人物のひとりとして最も適当な人物名を、次の①～④のうちから一つ選べ。[45] 【CG】

「およそ将来の世界戦争においてはかならず核兵器が使用されるであろうし、そしてそのような兵器が人類の存続をおびやかしているという事実からみて、私たちは世界の諸政府に、彼らの目的が世界戦争によっては促進されないことを自覚し、このことを公然とみとめるよう勧告する。したがってまた、私たちは彼らに、彼らのあいだのあらゆる紛争問題の解決のための平和的な手段をみいだすよう勧告する。」

① ノーベル ② シュレーディンガー ③ ラッセル ④ ハイゼンベルク

問3 言語についてのウィトゲンシュタインの考え方の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[46]【SHH】

- ① 言語とは世界のあり方を写し取るものである、と考える写像理論によれば、言語に対応する事実を確定できない神や倫理のような事柄については、真偽を問うことができない以上、沈黙しなければならない。
- ② 言語とは世界のあり方を写し取るものである、と考える言語ゲーム論によれば、日常生活における具体的な言語使用の実践を離れて、万人に妥当する普遍的な言語の規則を決定しなければならない。
- ③ 言語の規則は言葉の使用を通じて形成される、と考える写像理論によれば、言語に対応する事実を確定できない神や倫理のような事柄については、真偽を問うことができない以上、沈黙しなければならない。
- ④ 言語の規則は言葉の使用を通じて形成される、と考える言語ゲーム論によれば、日常生活における具体的な言語使用の実践を離れて、万人に妥当する普遍的な言語の規則を決定しなければならない。

問4 フランクフルト学派は、科学技術に対して否定的な立場をとっていたとすることができる。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[47]【SHH】

- ① この立場は、人間の科学技術を神の摂理を冒すものとしてしりぞけ、人間が無為にして自然なあり方に帰ることを求めた。
- ② この立場は、知識は日常生活に有用な限りで真だとし、科学技術の理論的抽象的な側面を無用として、実験的側面のみを求めた。
- ③ この立場は、弁論術をはじめ技術一般は経験的次元を脱することがなく、結局は人間に迎合することになると考えた。
- ④ この立場は、自然を支配する道具と化してしまった理性が、もともと目指されていたはずの人間の自由をかえって失わせたと考えた。

問5 理性によって理性の限界を克服するために、ハーバーマスが自らの理論のなかで強調する事柄を示す語句として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[48]【SHH】

- ① コミュニケーション行為 ② パラダイムの転換
- ③ ビューロクラシー ④ 公正としての正義

問題は次のページに続きます。

問6 ハーバーマスの「対話的理性」という考え方に合致している発言として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[49]【SHH】

- ① 議論をしても埋まらない立場の相違や利害の衝突は、多数者の意思に基づいて解決していく。それが、民主主義社会の公共性の原理でしょ。
- ② 多数決なんて乱暴だな。理想論って言われるかもしれないけど、みんなが互いに納得し合えるまで、とことん話し合いを続けるべきだよ。
- ③ 納得し合う必要もなくて、とことん意見をぶつけ合っていけばいいのさ。議論で一番大切なのは、互いの意見の違いを明らかにすることだからね。
- ④ 理想的な対話は、見知らぬ者同士では難しいよ。理性的に話し合うためには、互いに信頼し合える親密な関係が不可欠だよ。

問7 次の文を読み、下の空欄 [a] [b] に入るものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。[50]

論理学は、思考の道筋を「真理 (Truth)」という概念を用いて説明する学問である。そこでは、真理と真理との関係が問題とされる。この点で論理学は、他の学問とは異なる。この違いは、研究対象の違いである。例えば、物理学は物理についての真理を、数学は数についての真理を探究する。これに対して、論理学は真理そのものを研究対象としている。つまり、「・・・が真であるならば ～ は真である」というような真理関係とはいかなるものかを探究しているのである。

論理学の探究の一つの方法として真理表 (truth table) が用いられる (これは、ウィトゲンシュタインによって導入された)。論理学では、この方法によって “and” “not” の真理関係が次のように理解される。この表で、「A が真であるならば not A は偽である」「A と B が共に真であるならば、A and B は真である」等の真理関係が表現されている。

A	not A
真	偽
偽	真

A	B	A and B
真	真	[a]
真	偽	偽
偽	真	[b]
偽	偽	偽

- ① a 真, b 真 ② a 真, b 偽 ③ a 偽, b 真 ④ a 偽, b 偽

問題は以上です。